



## 令和4年度 学校評価アンケート結果

今年度は、重点目標を「持続可能社会の担い手であることを自覚する生徒の育成」とし、具体的な達成目標を「学習面」と「生活面」から下記のように設定し、取り組んできました。生徒や保護者の皆様のアンケート結果から、達成状況をまとめました。

### 具体的な達成目標

※数値は生徒の肯定的評価の割合を示します

	目標	達成度
○多面的・多角的な見方・考え方を身に付けた生徒		
・自分の考えを表現し、対話を通して深め合うことができる。 . . . . .	80%	90%○
・学年にふさわしい時間の家庭学習の習慣が身に付いている。 . . . . .	80%	71%▲
○よりよい集団づくりを目指す生徒		
・時と場に応じた挨拶や言葉遣いをする。 . . . . .	95%	97%○
・校舎や地域への感謝の気持ちを込めて清掃する。 . . . . .	95%	95%○
・人には思いやりをもって接し、よい関係を築けるよう心掛けている。 . . . . .	95%	95%○

#### ①自分の考えを表現し、対話を通して深め合うことができる。

「授業では、自分の考えをもち、友達との関わりを通して深めることができる」と答えた生徒は、1年生は87.8%、2年生は87.8%、3年生は94.4%、全校生徒では90%となり、目標を達成することができました。各教科の授業においては、自分の考えを表現し、対話を通して交流する学習場面を位置付けたり、一人一人が考えをまとめ、多様な考え方に触れたりできる機会を設けた結果が表れました。次年度も目標達成に向けた取組を着実に進めていきたいと思ひます。

#### ②学年にふさわしい時間の家庭学習の習慣が身に付いている。

今年度、学力向上のために重点的に取り組んできた家庭学習については「学年にふさわしい時間の家庭学習の習慣が身に付いている」と答えた生徒は、全校生徒の71.2%と目標値を下回りましたが、昨年と比べると10%近く伸びています。次年度も各教科の特質を踏まえた家庭学習を工夫したり、授業とのつながりを意識したりし、必要感とやりがいのある家庭学習となるよう取組を推進していきます。また、保護者アンケートからは「お子さんは学年にふさわしい家庭学習が身に付いている」60.2%と、まだまだ家庭学習の習慣には課題があることがわかります。充実した家庭学習の習慣が身に付くよう、家庭での時間の過ごし方や予習・復習等の自主学習の仕方について指導したり、ご家庭と連携してノーメディア・チャレンジ・ウィークに取り組んだりしていきたいと思ひます。

#### ③ 時と場に応じた挨拶や言葉遣いをする

#### ④ 校舎や地域への感謝の気持ちを込めて清掃する

#### ⑤ 人には思いやりをもって接し、よい関係を築けるよう心がけている。

「挨拶」「清掃」「思いやり」については、どの項目も95%以上の生徒が意欲的に活動していると回答しており、生徒自身も学校の伝統を大切にしながら、温かい人間関係を築き、よりよい集団であろうとする様子がわかります。地域に愛される牧野中学校として、今後も一層「よりよい集団づくりを目指す生徒」の育成に取り組んでいきます。